

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場会社名 ヨシコン株式会社 上場取引所 大
 コード番号 5280 URL <http://www.yoshicon.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 立志
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 吉田 尚洋 (TEL) 054-205-6363
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,330	0.8	168	148.7	159	167.0	95	148.9
24年3月期第1四半期	2,311	25.1	67	—	59	—	38	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 91百万円(76.8%) 24年3月期第1四半期 51百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	12.79	—
24年3月期第1四半期	5.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	17,864	8,906	49.8
24年3月期	17,193	8,921	51.9

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 8,904百万円 24年3月期 8,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	11.50	11.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	8.2	150	△28.3	120	△36.6	60	△45.9	8.04
通期	15,500	14.1	1,700	14.6	1,650	13.7	850	10.9	113.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	8,030,248株	24年3月期	8,030,248株
25年3月期1Q	607,480株	24年3月期	560,180株
25年3月期1Q	7,457,093株	24年3月期1Q	7,580,264株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や、エコカー補助金など政策効果を反映した消費マインド回復による企業収益の下げ止まりなどから、緩やかにもち直しが見られたものの、国内の電力供給懸念や長期化する円高や株価低迷、海外での欧州債務危機や新興国経済の減速により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境下にあつて、当社グループの不動産事業分野では、総合デベロッパーという視点から常に変化する消費行動を的確に捉え、新規物件の取得、販売用不動産の売却を進めるとともに、震災への取組みや少子高齢化に対するニーズをビジネスチャンスとするべく取り組んでまいりました。

建設土木業界におきましては、構造的に公共工事が減少し競合メーカーとの受注競争が激化するなか、震災関連特需の取り込み活動を進めつつ、不動産事業との連携や民間建築用製品へのシフト、また新規事業である売電事業への進出などにより、公共事業に依存しない体質への変革を目指してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は23億30百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益は1億68百万円（前年同四半期比148.7%増）、経常利益は1億59百万円（前年同四半期比167.0%増）、四半期純利益は95百万円（前年同四半期比148.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

①レジデンス事業

レジデンス事業におきましては、分譲マンションの販売は、「エンブルヒルズ駿河台」（藤枝市・平成24年3月竣工）、「エンブルステーション西焼津」（焼津市・平成24年3月竣工）、「エンブルガーデン豊田」（静岡市駿河区・平成24年3月竣工）など完成在庫物件の引渡しに順調に推移し大幅な増収増益となりました。

この結果、売上高は6億75百万円（前年同四半期比26.6%増）、セグメント利益は1億33百万円（前年同四半期比260.6%増）となりました。

②不動産開発事業

不動産開発事業におきましては、宅地分譲用地及び商業工業施設用地の引渡しに第2四半期にずれ込むこととなり、大幅な減収減益となりました。

この結果、売上高は18百万円（前年同四半期比93.9%減）、セグメント損失は30百万円（前年同四半期は22百万円のセグメント利益）となりました。

③賃貸・管理事業

安定収益が見込める賃貸・管理事業におきましては、前連結会計年度中に取得した静岡市のオフィス物件の賃貸収入により売上が増加することとなりましたが、損益面では平成24年6月末に取得した賃貸収益マンションの租税公課負担が先行して発生したことなどにより、増収減益となりました。

この結果、売上高は2億71百万円（前年同四半期比3.4%増）、セグメント利益は84百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

④環境事業

環境事業におきましては、構造的な公共事業の縮減に加え、新東名高速道路など大型公共工事も終了し、また、民間需要も慎重な国内の設備投資姿勢が継続していることから、引き続き厳しい状況となっております。しかしながら、静岡県東部地区での災害復旧工事への製品の納入や、中部電力（株）浜岡原子力発電所の津波対策工事への生コンクリートの納入をはじめとする震災特需を取り込むことができたことから、増収増益となりました。

この結果、売上高は12億95百万円（前年同四半期比12.1%増）、セグメント利益は25百万円（前年同四半期は14百万円のセグメント損失）となりました。

⑤その他

飲食店売上、衣料品販売や保険代理店収入等で、売上高は69百万円（前年同四半期比46.7%増）、セグメント利益は22百万円（前年同四半期比78.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は178億64百万円（前連結会計年度比3.9%増）となりました。

流動資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したものの、主に販売用不動産が増加したことにより、124億9百万円（前連結会計年度比5.3%増）となりました。固定資産は、建物及び構築物や投資その他の資産が減少したものの、その他有形固定資産（車両運搬具、リース資産など）の増加により、54億55百万円（前連結会計年度比0.9%増）となりました。

(負債)

流動負債は、支払手形及び買掛金や未払法人税等が減少したものの、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金などが増加したため、62億91百万円（前連結会計年度比20.8%増）となりました。固定負債は、長期借入金の減少などにより、26億66百万円（前連結会計年度比13.0%減）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は89億6百万円（前連結会計年度比0.2%減）となりました。純資産の減少の主な要因は、配当金の支払などによるものであります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は49.8%（前連結会計年度比2.1ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、不動産事業分野では、第2四半期連結会計期間以降での竣工を予定している販売物件の工事は順調に推移しており、一部に予約も入るなど販売活動も好調に経過しております。

環境事業分野では、構造的な公共事業の縮減に伴う土木工事の減少により、厳しい状況が継続するものと考えております。但し、今後も震災及び災害復旧製品並びに建築用製品の出荷は順調に推移するものと思われれます。

したがって、平成25年3月期の業績予想について、現時点では、平成24年4月27日公表の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、前連結会計年度末において当社の連結子会社であった株式会社YCFは、平成24年7月1日付で、株式会社ワイシー（株式会社YCFに商号変更）を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,119,142	938,582
受取手形及び売掛金	1,186,380	945,411
商品及び製品	788,465	799,050
仕掛品	7,635	7,635
原材料及び貯蔵品	48,590	46,688
販売用不動産	8,352,881	9,259,272
未成工事支出金	72,733	74,195
その他	222,270	356,376
貸倒引当金	△11,967	△17,948
流動資産合計	11,786,131	12,409,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,170,144	2,136,452
土地	2,409,763	2,409,763
その他（純額）	146,534	231,055
有形固定資産合計	4,726,442	4,777,271
無形固定資産	50,282	52,196
投資その他の資産		
その他	674,059	672,240
貸倒引当金	△43,660	△46,522
投資その他の資産合計	630,399	625,717
固定資産合計	5,407,124	5,455,185
資産合計	17,193,256	17,864,449
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,798,475	548,789
短期借入金	1,909,350	4,324,750
1年内返済予定の長期借入金	474,551	761,456
未払法人税等	569,010	18,436
賞与引当金	44,643	19,403
役員賞与引当金	60,000	—
その他	352,059	618,416
流動負債合計	5,208,089	6,291,251
固定負債		
長期借入金	2,413,032	1,999,925
資産除去債務	14,464	14,551
その他	636,589	652,333
固定負債合計	3,064,086	2,666,810
負債合計	8,272,176	8,958,061

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,652,065	1,652,065
資本剰余金	1,854,455	1,854,455
利益剰余金	5,601,507	5,611,001
自己株式	△175,884	△195,687
株主資本合計	8,932,143	8,921,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,032	△4,726
繰延ヘッジ損益	△14,237	△12,997
その他の包括利益累計額合計	△13,205	△17,723
少数株主持分	2,142	2,277
純資産合計	8,921,080	8,906,387
負債純資産合計	17,193,256	17,864,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	2,311,254	2,330,308
売上原価	1,874,943	1,763,149
売上総利益	436,311	567,159
販売費及び一般管理費	368,720	399,055
営業利益	67,591	168,103
営業外収益		
受取利息	204	93
受取配当金	2,259	1,944
仕入割引	4,272	4,739
貸倒引当金戻入額	5,742	—
受取手数料	3,209	1,912
その他	4,717	7,105
営業外収益合計	20,405	15,794
営業外費用		
支払利息	22,261	20,956
持分法による投資損失	5,742	1,121
その他	313	2,455
営業外費用合計	28,317	24,532
経常利益	59,678	159,365
特別損失		
固定資産除却損	247	—
特別損失合計	247	—
税金等調整前四半期純利益	59,430	159,365
法人税、住民税及び事業税	18,387	17,142
法人税等調整額	2,600	46,687
法人税等合計	20,987	63,829
少数株主損益調整前四半期純利益	38,443	95,535
少数株主利益	120	135
四半期純利益	38,322	95,399

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	38,443	95,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,189	△5,758
繰延ヘッジ損益	837	1,239
その他の包括利益合計	13,026	△4,518
四半期包括利益	51,469	91,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,348	90,881
少数株主に係る四半期包括利益	120	135

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理 事業	環境事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	533,326	312,433	262,346	1,155,769	2,263,876	47,378	2,311,254
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	11,348	—	11,348	16,745	28,093
計	533,326	312,433	273,694	1,155,769	2,275,224	64,123	2,339,347
セグメント利益又は損失（△）	36,892	22,082	87,973	△14,180	132,768	12,475	145,243

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	132,768
「その他」の区分の利益	12,475
セグメント間取引消去	△354
全社費用（注）	△77,297
四半期連結損益計算書の営業利益	67,591

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理 事業	環境事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	675,410	18,942	271,370	1,295,080	2,260,803	69,505	2,330,308
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	11,090	—	11,090	42,271	53,362
計	675,410	18,942	282,460	1,295,080	2,271,894	111,776	2,383,670
セグメント利益又は損失（△）	133,029	△30,499	84,900	25,544	212,973	22,207	235,181

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	212,973
「その他」の区分の利益	22,207
セグメント間取引消去	443
全社費用（注）	△67,522
四半期連結損益計算書の営業利益	168,103

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する情報

当社は、平成24年2月21日付の組織変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来の「不動産開発事業」、「賃貸・管理事業」、「環境事業」、「特販事業」及び「その他」から、「レジデンス事業」、「不動産開発事業」、「賃貸・管理事業」、「環境事業」及び「その他」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。